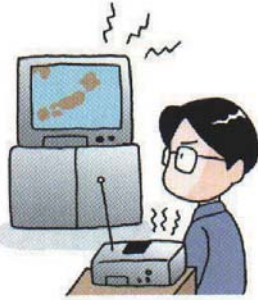


### ●気象台が発表する「台風情報」、「警報・注意報」などに気をつけましょう!

- 気象台では、台風の影響が考えられる場合や雨などにより重大な被害が発生する恐れがあるときは、「台風情報」「警報・注意報」を発表します。テレビやラジオから最新の情報を入手して下さい。



### ●危険な場所に近づかない

- 雨で増水した小川や側溝は境界が見えにくくなり、転落事故が発生します。また、山崩れ・がけ崩れも起こりやすくなります。日頃は安全と思われている場所でも油断せず、これらの場所にはむやみに近づかないようにしましょう。

### ●非常用品の点検

- 非常用持ち出し品の点検をしましょう。  
(例えば)赤ちゃんのいる家庭では粉ミルクとお湯を忘れないように準備しましょう。



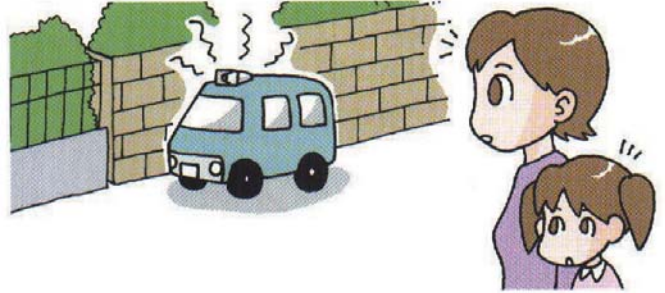
### ●避難の準備

- 避難勧告が出てからあわてないように、避難場所までの道順や避難指示の伝達方法・隣近所との協力体制などについて、再度確認しましょう。



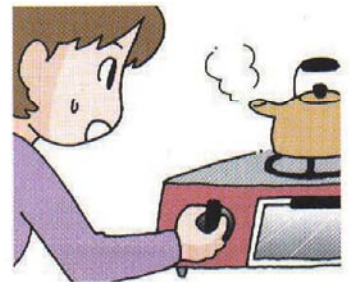
### ●災害発生の危険が迫ってきたら…

- 市区町村長は、災害の危険が迫った地域の住民に対して「避難勧告」や「避難指示」を行ないます。これらの指示は、防災無線・広報車・消防署などによって伝えられます。



- 危険を感じたり、市区町村長からの避難指示があった場合は、すぐにその指示に従えるよう準備し、あわてず速やかに避難しましょう。

- 避難の前には、必ず火の始末をしましょう。



- 避難の際の持ち物は最小限にして、背中に背負うなど、とっさのとき両手が自由に使えるようにしておきましょう。また、指導者の指示に従って、慎重に行動しましょう。
- 忘れ物をしたからといって、取りに戻るの危険です。

### ●避難先では…

- 勝手な判断や行動をせず、指導者の指示に従いましょう。
- 引き続き「台風に関する情報」、「警報・注意報」などの情報に注意して、最新の情報を入手しましょう。